

国際協力事業団（JICA）

ケニア共和国 農業農村開発省（MOARD）

ケニア共和国

バリントゴ県半乾燥地域農村開発計画調査

ファイナルレポート

マスタープラン

平成14年3月

株式会社 三祐コンサルタンツ

Exchange Rate as of September 2001

US Dollar = 77.40 KShillings

US Dollar = 118.80 JYen

KShillings = 1.53 JYen

序 文

日本国政府は、ケニア共和国政府の要請に基づき、同国のバリンゴ県半乾燥地域農村開発計画に係るマスタープラン調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施しました。

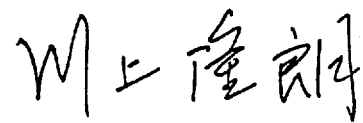
当事業団は、平成 11 年 8 月から平成 13 年 12 月までの間に 6 回にわたり、株式会社三祐コンサルタンツの竹内清二氏を団長とする調査団を現地に派遣しました。

調査団は、ケニア共和国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与すると共に、両国の友好・親善のいっそうの発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 14 年 3 月



国際協力事業団
総裁 川上 隆朗

伝 達 状

国際協力事業団
総裁 川上 隆朗 殿

今般ケニア共和国におけるバリンゴ 県半乾燥地域農村開発計画調査が終了しましたので、ここに最終報告書を提出致します。本報告書には、日本国政府関係省庁並びに国際協力事業団の上記計画策定に関する助言や提言、さらに2001年12月にケニア共和国のナイロビでもたれたケニア国政府農村開発省及び関係省庁との会議コメントを反映して、調査対象地域の住民参加による農村開発計画を取りまとめております。

本件調査で策定しましたマスタープランは、広義に捉えた場合、調査対象地域に対する社会・経済開発計画の1モデルといえます。そして、その計画は他の半乾燥地域に対しても開発のモデルとして参照されうるような地域開発計画として作成致しました。すなわちセクター(分野)別の計画を調整しながら総合的な地域開発計画にするとともに、かつ県レベルや国レベルといった高次元の開発計画との整合、あるいはこれら高次元の開発計画へのフィードバックを行っております。

本件調査では、フェーズⅠ、フェーズⅡ及びフェーズⅢの3ステージにわたって現地調査を行いました。フェーズⅠ調査では、暫定マスタープランを策定すると共に、7地区の実証調査事業が、関係各位との協議を経て選定されました。さらに、フェーズⅡ及びフェーズⅢ調査では、モニタリングツアー等により普及した実証調査事業をあわせ計10地区の実証調査事業について、その実施とモニタリング・評価調査を行いました。実証調査事業の結果と教訓は暫定マスタープランへフィードバックされ、最終的なマスタープランとして取りまとめられました。

本件調査の目指すところは、バリンゴ 県マリガット 郡及びムクタニ 郡のマスタープランの作成を通じて、これら地域住民の生活水準の向上に資することであり、このマスタープランは地域住民の主体的な参加はもちろんのこと、あわせて中央及び地方行政、そしてNGOs等を含む多くのステークホルダーが一体となって策定いたしました。よって、住民参加型の計画作成過程そのものも、その過程を通して最終的な成果品となるマスタープランと同様に重要であると考えます。

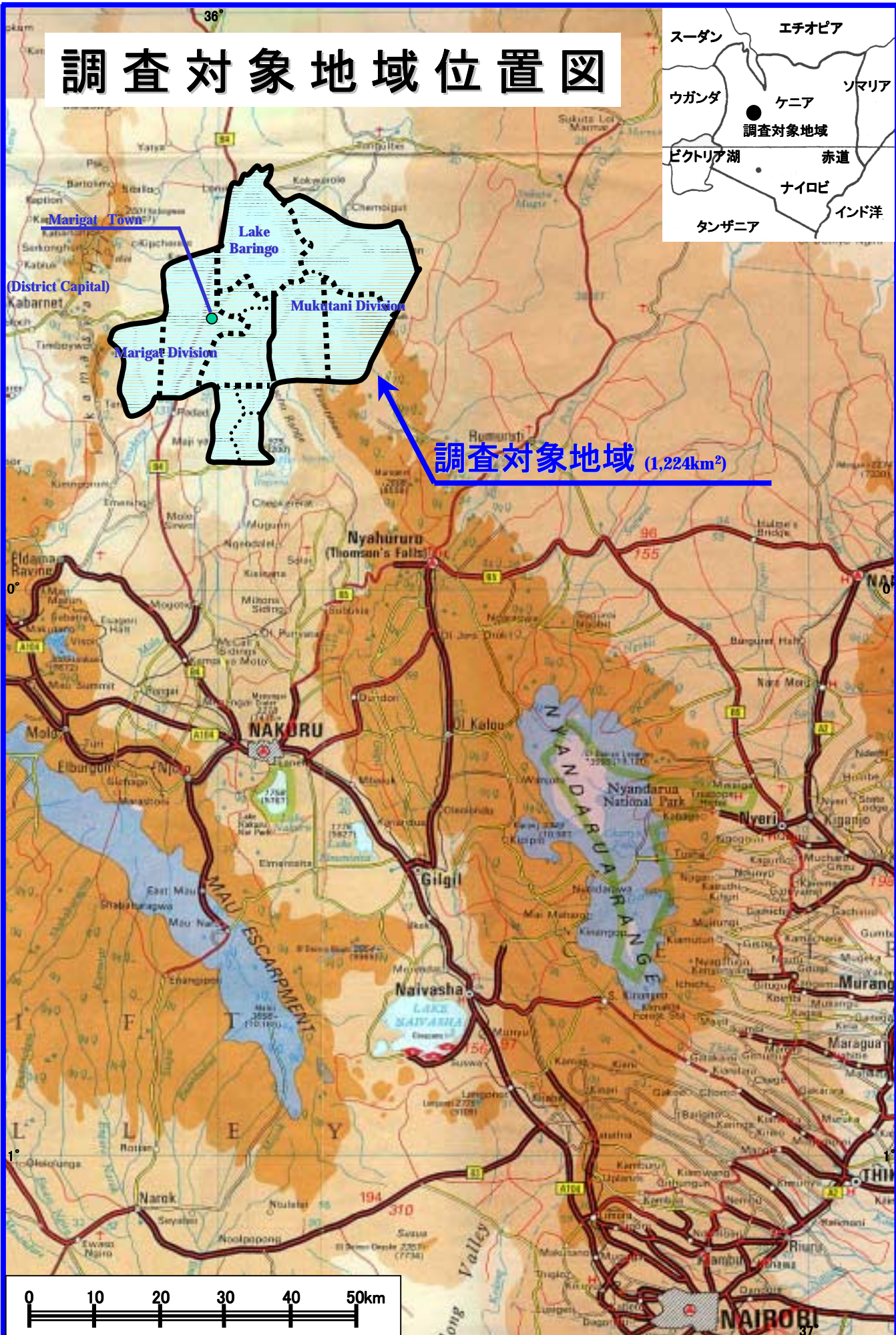
最後に本件調査の実施に際し、積極的なご支援とご協力を賜った国際協力事業団、日本国政府の外務省、農林水産省、さらにケニア共和国農村開発省を含めた関係省庁をはじめとして、随時適切な助言を頂いた各省会議の委員の関係各位に対して深甚の謝意を表します。

平成14年3月

竹内 清二

調査団長
竹内 清二

調査対象地域位置図





調査対象地域遠景：大地溝帯東側よりバリngo湖を望む



バリngo湖：地域の観光・漁業資源であり、また給水源でもあるがフッ素濃度が高い



天水によるメイズ作：地域住民は牧畜から定住農耕へと生活をシフトさせつつある



調査対象地域のわずか 1.5%で営まれている灌漑農業：メイズの他野菜も栽培されている



牧畜：牛は主栄養源であるミルクの供給、貯蓄手段、そして文化的価値でもある



家畜オークション：仲買人のみならず、地域住民も競りに参加し牛を手に入れる



旱魃で痩せ細った牛：Mukutani 郡では 2000 年の旱魃時に約 70%の牛が失われた



旱魃明：1 年の内ほんのわずかな期間、大雨の後に乾いた大地から草花が咲き乱れる



ワークショップ：実証事業の実施に際し、住民とのワークショップが定期的に行われた



拡大モニタリング：実証事業実施者と近隣住民との相互交流